

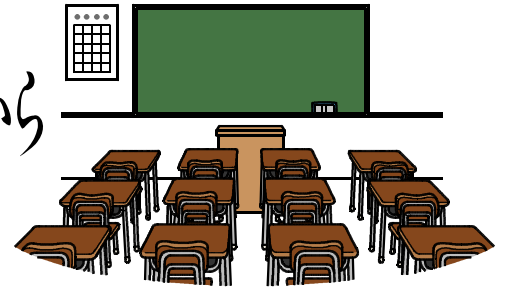


令和3年度 学校便り  
**与論中だより**  
令和3年5月11日 与論町立与論中学校

校訓  
誠  
協創自  
体力  
気力  
調造主

## 不易と流行 まずは「そろえる」ところから

校長 徳重 正宏



大型連休は終わりましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、旅行や催し物などに行けずに、従来とは異なる休みの過ごし方をされた家庭も多かったのではないのでしょうか。そんな中でも、できる範囲での楽しみを見つけ、時を過ごされたのではないかと思います。今も新型コロナウイルス感染症が拡大の傾向にあります。十分な対策（3密回避、手洗い、うがい、マスクの着用等）を行い、日常生活を送ってください。

さて、令和3年度も1カ月が経ち、これからが学校生活は再スタートで、本格的になります。授業、生徒会活動、学校行事、部活動等いろいろなことが動き出し、生徒にとって、特に1年生にとっては、学校生活に慣れるのに一苦勞といったところかと思いますが、中学校生活の習慣を早く身に付け、無理のないようにそのリズムを自分のものにしてください。3年部活生は、地区総体に向けこの1ヶ月が大切です。悔いの残らないように一日一日を大切に練習に励み。2年生は支えてください。

そして、学校生活においては、この時期大切なこととして、習慣付けること、「そろえる」ということに力点を置いて実践に努めたいと考えています。物をそろえる。心をそろえる。等、まずは、集団（社会性）として必要なことを徹底して参ります。

ある研修会で学校の良さは、次の3つを見れば分かるという方がいました。それは、「生徒の靴箱の靴のかかどが揃っているか。次にカバン棚のカバンが揃っているか。そして、自転車小屋の後車輪が揃っているか。」でした。全てある状況の様子ではありますが、まずはこれができることが、不易な部分の一つであると私は捉えており、育てたい力や感性でもあると思っています。（勿論窮屈であるとは理解した上ですが、必要な躰だからです。）

昨年1年間本校を見てきて、本校生の自慢できることが、放課後の教室や移動教室での自室（教室）の姿です。机と椅子が縦横整然と並んでいる姿を見ると大変心が癒やされ、生徒の落ち着きを感じ、継続させていきたいと思っています。

そして、様々な不易な部分の定着の上に、個性の伸長や時代の流れへの対応（流行）を図り、生徒の夢実現に近づけていきたいと考えます。

御家庭においてお願いしたいこととして、まずは、PTAが進める「早寝、早起き、朝ごはん」と情報機器の活用時間「9時だよ！接続終了！」の実践に取り組んでいただきたいと思います。これは、基本的な生活習慣の育成に結びつくと考えからです。

中学生は、次第に自我が芽生えてきますが、それは、尊重しながらも「手は離しても目ははなさない。」という視点で、お子さんと多くの会話の時間をとっていただきたいと思います。よろしく願います。

